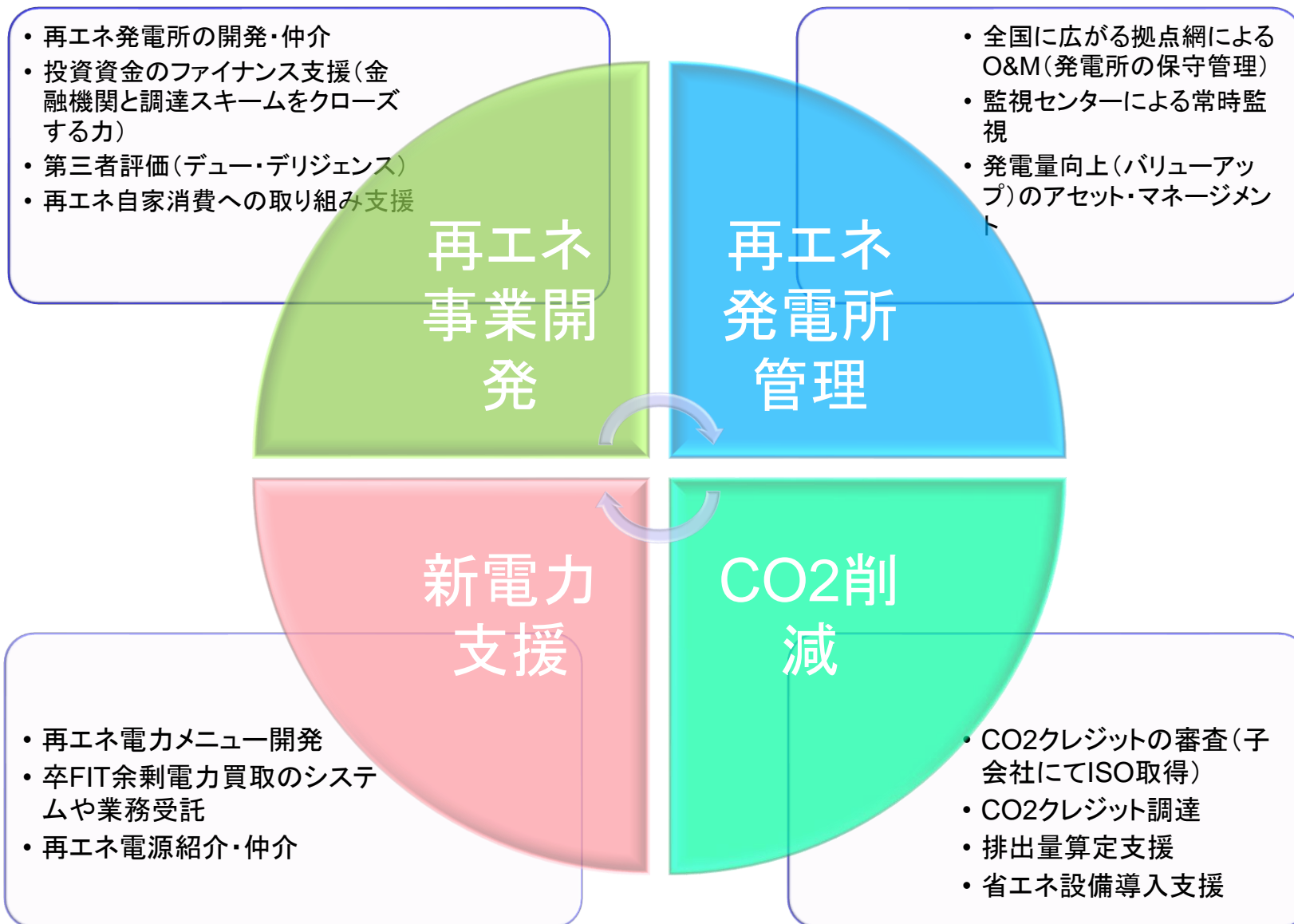


(株)スマートエナジーの地球温暖化防止を目指す事業スコープ



1. 再エネ事業開発

- A) 発電所開発・仲介(太陽光、バイオマス、小水力、地熱等)
～土地の選定、物件開発から、調査・設計、運用管理まで支援
- B) 投資資金のファイナンス支援
～SPCを設立しプロジェクトファイナンスを組成し、市民ファンド形式での募集の取扱いも可能(第2種金融取引業者登録済)
- C) 第三者評価(デュー・デリジェンス)レポートもご提供可能(太陽光、小水力、バイオマス)
- D) 再エネ自家消費への取り組み～概略設計、事業収支シミュレーション、太陽光発電設備調達・工事手配、補助金申請支援等を実施

2. 再エネ発電所管理

- A) O&M(保守管理)～監視センターによる24時間監視、全国に配置するメンテナンス拠点と専門技術者ネットワークを駆使し、法定点検から駆け付け、草刈まで対応
- B) アセット・マネージメント～発電量向上(バリューアップ)を意識したレポートイングや改善提案を実施

1. 新電力支援

ハウステンボスと共同出資で設立したHTBエナジー(株)を、新電力第40位(低圧19位)まで成長させた経験を、再エネ事業のノウハウと組み合わせてご支援

- A) 再エネ電力メニュー開発
- B) 卒FIT余剰電力買取のシステム開発・業務受託
- C) 再エネ電源の紹介・仲介
- D) スマートコミュニティ関連事業調査(資源エネルギー庁の事業化可能性調査の受託実績複数)

2. CO2削減

- A) CO2クレジットの審査 ~ 子会社の(株)日本スマートエナジー認証機構において、J-クレジットの審査等を実施
- B) CO2クレジットの調達 ~ J-クレジット調達実績あり
- C) 排出量算定支援 ~ 省エネ・再エネ自家消費による削減量算定も支援
- D) 省エネ設備導入支援
~ 高効率な空調・照明設備の調達・工事手配、補助金申請支援等を実施

沿革

- 2006年 エネルギー関連認証機関(株)日本スマートエナジー設立。
- 2007年 エネルギー関連調査研究機関(株)スマートエナジー設立。国内初CO2削減ファンド「エナジーバンク」設定。
- 2008年 国内クレジット制度立上げに事務局として尽力。
- 2009年 ESCOファンド設定運営開始。
- 2010年 カーボンカウンセラー事業、全国でCO2削減人材養成開始。(株)排出権取引市場を双日(株)と合併設立させる。
- 2011年 スマートグリッド事業開始。蓄電池、小型風車発売。北京事務所設立。
- 2012年 再生可能エネルギー事業に参入開始。
- 2017年 ハウステンボス(株)と合併にて、新電力会社であるHTBエナジー(株)を設立。新電力事業に参入開始。
- 2017年 資本金を19億3,966万円に増資。

「地域の皆さんと共に、できることからまず始める」を信念に

スマートエナジーは、低炭素社会の確立という社会的課題に挑戦する会社です。我々は、この理念実現のために存在し、課題解決のために活動しています。その意味でスマートエナジーは社会的企業であるがゆえに、ときには企業の利益最大化という目的と相反することもあります。我々はこの理念を何事にも優先し続けます。低炭素社会の実現には、人類の英知を総動員することが必要です。スマートエナジーは旧来の「豊かな生活＝CO2大量排出」という図式を崩し、新たな方法を構築することを夢んでいます。その1つとして、スマートエナジーは再生可能エネルギーによる発電事業を提案しています。



スマートエナジー・
グループ代表

大串卓矢

株式会社スマートエナジー 代表取締役
東京大学農学部卒 公認会計士
中央青山監査法人、株式会社中央青山サステナ
ビリティ認証機構取締役を経て、2006年株式会
社日本スマートエナジー設立。
2007年株式会社スマートエナジー設立、代表取
締役就任(現任)。
低炭素社会の確立のために、再生可能エネルギ
ーを活用した発電事業、排出量取引の審査、排
出量取引制度を担う人材育成等の事業を実施し
ている。

法人名	株式会社スマートエナジー
設立日	2007年4月24日
資本金	1,939,660千円
登録番号	第二種金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2432号
株主	大串卓矢、ゴールドマンサックスGr、住商メタレックス株式会社他
東京本社	東京都中央区八重洲2-7-2 TEL:03-6262-1472 FAX:03-6262-1473